

危ない！ 浜岡原発

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2011年5月

No. 39

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602

福島第一原子力発電所における事故の解決への見通しが立っていません。そのような状況の中で、浜岡原子力発電所も同様な構造の発電所であり、危険性が指摘されています。

●原子力安全委員会

委員長によると

内閣府原子力安全委員会委員長の班目春樹氏は、07年2月の浜岡原発運転差し止め訴訟の静岡地裁での証人尋問で、非常用発電機や制御棒など重要機器が複数同時に機能喪失することまで想定していない理由を社民党の福島瑞穂氏に問われ、「割り切った考え。すべてを考慮すると設計ができなくなる」と述べていました。このように、政府関係者も認めるように原発は安全を切り捨てて作られているのです。

●地震の可能性が高い

政府の地震調査委員会は、「東海地震」は今後30年以内に87%の確率で起き、その規模はマグニチュード8程度と予測しています。その東海地震の震源域に浜岡原発は位置しています。地震が起きれば、福島第一原子力発電所を超える大事故になる可能性が高いと考えられます。

●汚染を受ける広さは？

浜岡原発で運転中の発電所は、一番小さい3号機でも110万kWで合計350万kWです。京都大学・原子炉実験所 小出裕章氏作成の資料「終焉に向かう原子力（第11回）悲惨を極める原子力発電所事故」（11年4月29日）によると、

チェルノブイリ発電所の事故で放出された放射能は、広島の原爆の放射能の800倍の規模となります。チェルノブイリの事故を起こした発電所が100万KW級の出力となるので、浜岡で同じ規模の事故が起きた場合、1200kmの彼方まで、つまり日本中どこでも放射線管理区域になりますし、強制避難させる場所は250kmの風下に及びます。（左図参照）

●危険な原発は停止を

浜岡原発は、震源域の真上に位置し、重要機器の機能喪失を想定していない点で、危険な原発といえます。浜岡原発の即時停止・廃止に向けて取り組む必要があるといえます。

